

新型 NC 装置 MAZATROL PREVIEW 3 を搭載した ファイバーレーザー加工機「OPTIPLEX 3015 FIBER II」新登場

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、新型の NC 装置 MAZATROL PREVIEW 3(プレビュー・スリー)を搭載したファイバーレーザー加工機「OPTIPLEX 3015 FIBER II(オプティプレックス ファイバー マークII)」を発表し販売を開始します。

当機は、CO₂ レーザに比べて、集光効率が良く、高速切断が可能でランニングコストを低減できるファイバーレーザーと新型の NC 装置 MAZATROL PREVIEW 3 を搭載し、さらには、X,Y 軸早送り速度 120m/min の高い駆動性能です。例えば、一般的な高出力 CO₂ レーザ加工機と比較して、ステンレスの薄板加工で 30%以上の生産性向上(当社比)を実現します。また、CO₂ レーザ加工機では切断が困難であった銅・真鍮・アルミなどの高反射材も安定して加工することができます。

新型 NC 装置 MAZATROL PREVIEW 3 は、業界最速の CPU を搭載し、レーザー発振指令の応答性の向上や最適加減速制御により加工時間を短縮します。たとえば、当社従来機のファイバーレーザー加工機と比べ、生産性を約 10%向上します。

また、CO₂ レーザでは必須のレーザーガスや光学部品パージ用ガスが不要で、さらに電力を従来比 42%(4kW 仕様)まで大幅に抑えたことで、保守性の向上、ランニングコストの低減、環境にも配慮しています。

従来機である OPTIPLEX 3015 FIBER は、エルゴノミクス(人間工学)による操作性や保守性を追求した先進のデザインを採用し、2012 年度グッドデザイン賞を受賞しました。



ファイバーレーザー加工機 OPTIPLEX 3015 FIBER II

お問合せ先 : ヤマザキマザック株式会社 営業統括部 広報・販売企画課

TEL:0587-95-1144 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。

ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください。